



やまがた でん せつ 伝説 DENSETSU

やま がた けん れき し さんぎょう しん こう
山形県の歴史や産業振興に
ふか かか も がみ がわ ゆ らい
深く関わる最上川には、こんな由来や
エピソードがあるんですって！



「最上川の名前」は
アイヌ語が
関係しているかも？

げんりゅうひのほろのたき
源流火焰滝

に ほんさんだいきゅうりゅう ひと にし あづまやま に ほんかい
日本三大急流の一つ最上川は、西吾妻山から日本海まで
けんない しゅうだん やく しりゅう あつ おお なが
県内を縦断し、約400の支流が集まり大きな流れになりま
す。名前の由来は諸説があり、アイヌ語のモモ（崖）カミ
（上）の地を流れてくる川や、「しずかなる神（もがみ=
mo-kamuy）」から来ているという説もあります。

しょうわ ねん たんじょう けんみん うた しょうわ てんのう
昭和5年に誕生した県民の歌「最上川」は、昭和天皇が
こうたいし たいしやう ほんけん よくねん
皇太子であられた大正14年に本県においてになり、翌年
うた かいはいじめ よ せいしき
の歌会始でお詠みになられたものです。昭和57年に正式
に県民の歌に制定され、歌い継がれています。最上川が母
なる川として県民に愛され親しまれていた証です。



山形県民の歌「最上川」は
三大県民歌に
数えられたんだって！

「最上川を遡る船」は
人力で引ひ張った
んだって！



え ど じ だ い し ゅ じ ゃ う ゆ せ う ろ
最上川は江戸時代の主要な輸送路
でした。船に米や大豆、紅花などを
つ 積み だ い ず べ に は な
積みんで上方（今の大阪や京都）や江
つ か み が た い ま お お さ か き ょ う と
戸へ運び、帰りには塩や魚などを積
ど は こ か え し お さ か な つ
んできました。流れに逆らって進む
さ か す す
んできました。流れに逆らって進む

ときは、船にロープをつなぎ、人力で引いていました。こうした苦労のおかげで、上方や江戸とつながり、物資だけでなく文化などがもたらされました。



うしゅうかわどおりえず けんりつはくぶつかんしよせう ず いちぶぶん かくだい
羽州川通絵図(県立博物館所蔵) 上の図は一部分を拡大したものです。



最上川は県民の
一体感を育んだ
母なる川です。

はなし き
県民の歌についてお話をお聞きした
わたなべ いさお
渡部 功さん

とも かい かいりん
山形県立博物館友の会 会員

ち いきすべて
県内4つの地域全てを流れる最上川は、
県民の一体感を育んでいます。県民歌を
おおいに歌い、歌が生まれた歴史や最上
川をもっと学んでみましょう。

